



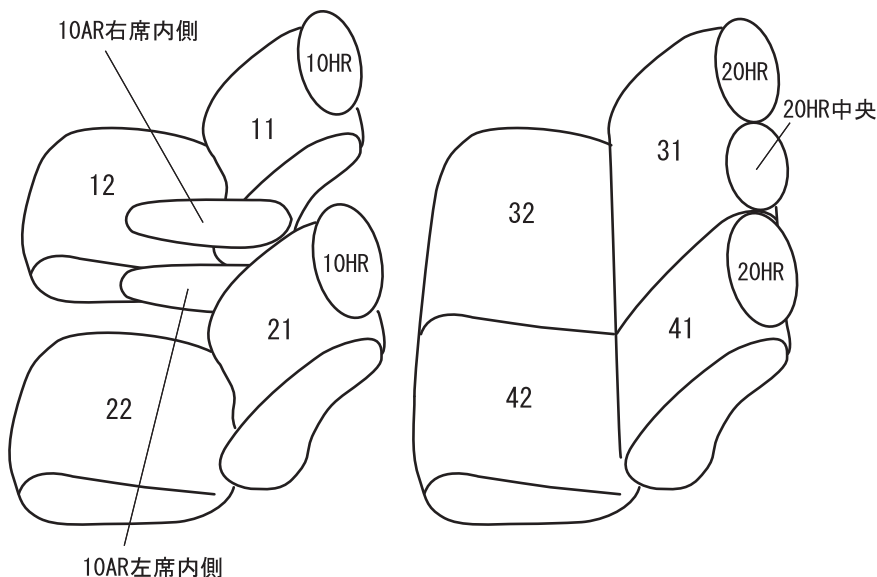
# トヨタ FJクルーザー

## 専用シートカバー取付説明書

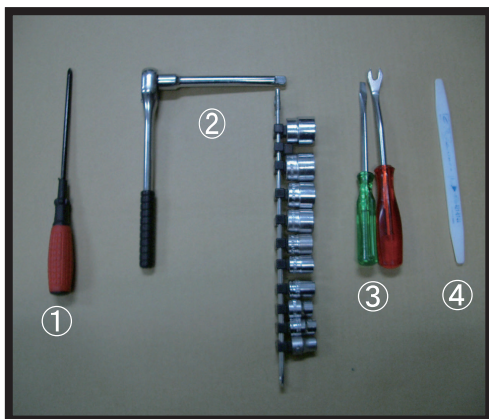
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

# 本製品シート形状とパーツの名称



## 取付必要工具



### 工具名

- ① +ドライバー
  - ② ソケットレンチセット
  - ③ ードライバーまたは内張り外し
  - ④ ヘラ
- ※その他：六角レンチ

※この車種では、②と④の工具と六角レンチを使用します。

※この車種では、①と③の工具は使用しません。

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。  
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。  
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



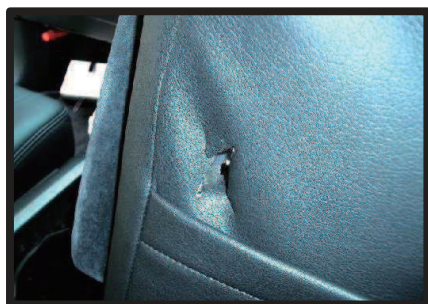
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

# コンビニフックについて

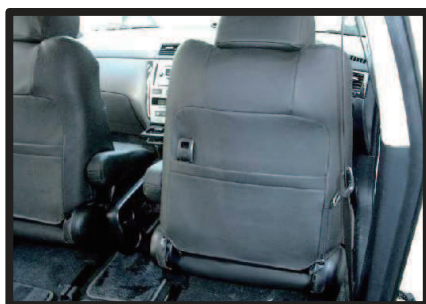
一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



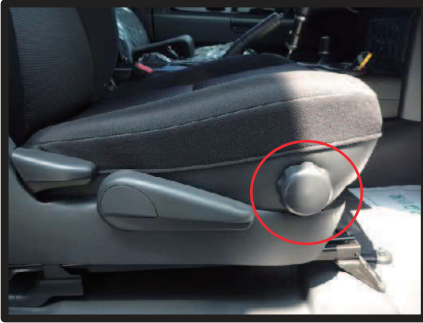
- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

# 1 列目座面

※運転席装着時は、シート位置を一番高くしておくとして作業がしやすくなります



①運転席のシートリフターダイヤルを取り外します。ダイヤルは軸にピンで固定されていますので、②と③を参考に、ピンの端を外側に開くようにして軸から外します。



④背もたれ背面から座面下に固定されている生地をめくり上げます。生地は、座面下にゴムで固定されています。



②ピンを外すと、ダイヤルは手前に真っ直ぐ引き抜く事が出来ます。図は、取り外したダイヤルとピン、ダイヤルが固定されていた軸です。



⑤カバーを半分ほど裏返した状態で、シートのラインに合うように、位置を決めます。



③ピンを無くさないように、ダイヤルに図のように固定し直します。ダイヤルを元に戻す際は、この状態で、ダイヤルをシートに押し込む事で、ピンがロックされます。

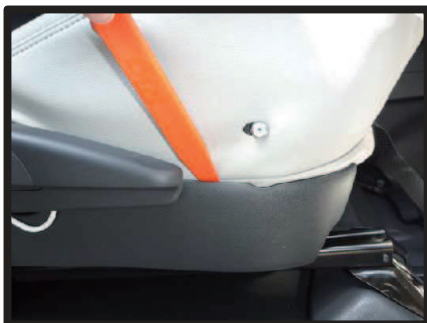


⑥合わせたラインがずれないように、カバーをかぶせます。





⑦背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑩カバー外側面の生地を、プラスチック部に入れ込みます。  
※内側面は入れ込まず、そのままにしておきます。



⑧シートリフターダイヤルの軸を、カバーの加工穴から取り出します。



⑪カバー外側面のヒモを、リクライニングレバーの隙間に入れ込みます。



⑨ラチェット式シートリフター部(○部)は、カバーに付いているヒモが図のように、下側を通るようにして下さい。

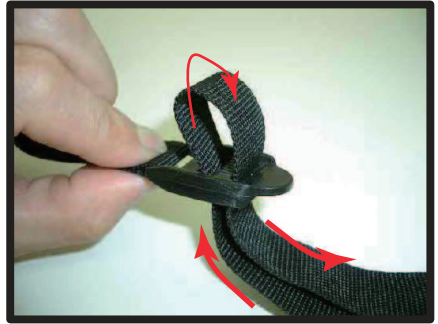


⑫入れ込んだヒモを、シート下側から取り出し、後ろ側へ引き出します。カバー内側面のヒモは、シート側面を沿わせ、後ろ側へ引き出します。

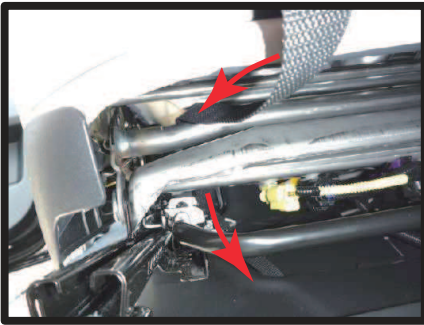
# 1 列目座面続き



⑬ 2 ページ⑦で入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。  
この際、サイドエアバッグの配線をかかわすようにして下さい。



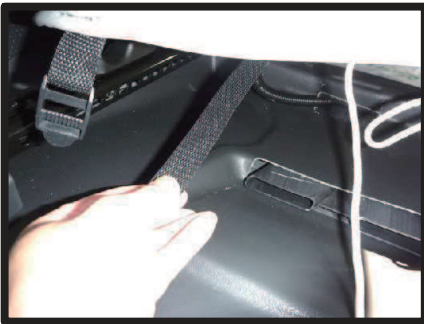
⑭ ベルトの固定方法は、最初に図のように真中の穴に通し、次に手前の穴に通します。この状態で、前後のベルトを引く事で固定されます。



⑮ カバー前側に付いているベルトは、図のように、シート下の金属部の上側を通すようにします。



⑯ 2 ページ⑫で引き出したヒモの一方で輪を作り、もう一方を輪に通し、引き絞結び留めます。  
強く引っ張るとヒモが切れる恐れがありますので注意して下さい。



⑰ シート下に通したベルトを後ろ側から引き出します。  
ベルトは、⑬で引き出した生地についているバックルを使い固定します。— 3 —



⑱ カバーのラインを整え、1 列目運転席側座面の完成です。  
助手席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。

# 1 列目背もたれ



**注意**

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



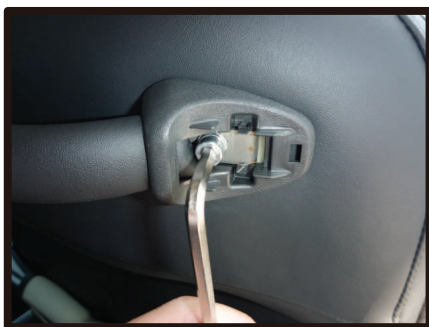
①始めに、アームレストを取り外します。  
アームレスト側面のキャップを外すと、中にボルトがあります。



④次に、背面にあるアシストグリップを取り外します。  
先の細いものを使用し、グリップ付け根のプラスチック部を外すと、中にネジがあります。



②ボルトをラチェット等を使用し、外します。



⑤ネジを六角レンチを使用し、外します。



③ボルトを外すと、アームレストが取り外せます。



⑥ネジを外すと、アシストグリップが取り外せます。

# 1 列目背もたれ続き



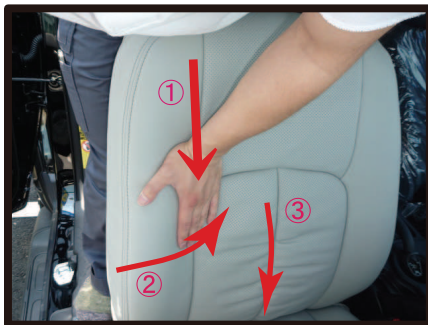
⑦カバーを半分ほど裏返した状態で、背もたれにかぶせます。肩口までしっかり入れ込むようにして下さい。



⑩入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。この際、サイドエアバッグの配線は生地の切れ込み部分でかわすようにして下さい。



⑧1ページ④でめくり上げた生地を、カバーの中に入れ込みます。



⑪図の①～③の順にカバーを背もたれに馴染ませるようにしながら、シワを無くします。



⑨背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑫ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地の伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。



⑬ヘッドレストの台座部分は、このようになります。



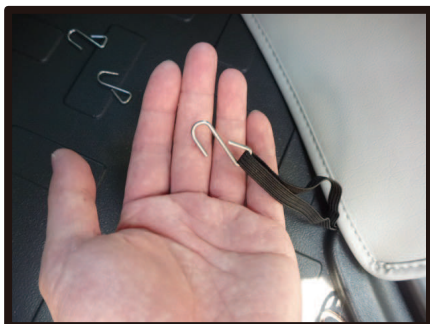
⑭S字フックは、座面下の金属部分に引っ掛け固定します。



⑮5ページ⑩で引き出した生地と、背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。

### ⚠ 注意 ⚠

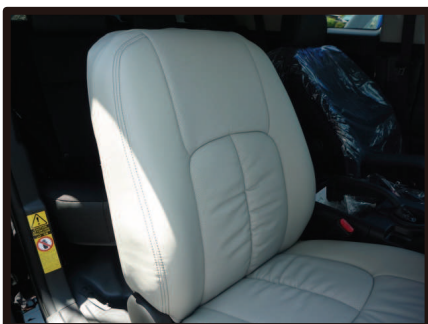
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



⑯背もたれ背面の生地に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑰背もたれ背面は、このようになります。



⑱サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。  
4ページで外したアシストグリップを外した逆の手順で元に戻し、カバーのラインを整え、1列目運転席側背もたれの完成です。  
助手席側も同様に取り付けます。

## 2列目座面



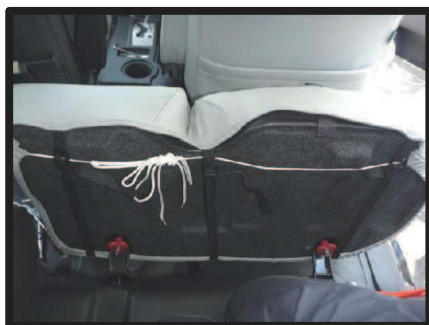
①シートのラインに合わせて、前側からカバーをかぶせます。



④カバー両側面のヒモを、1列目と同様に固定します。  
余ったヒモは、一つに束ねる等して下さい。



②シートを引き起こす為のストラップを、カバーの加工穴から取り出します。



⑤カバー前後のベルトを、1列目と同様に固定します。

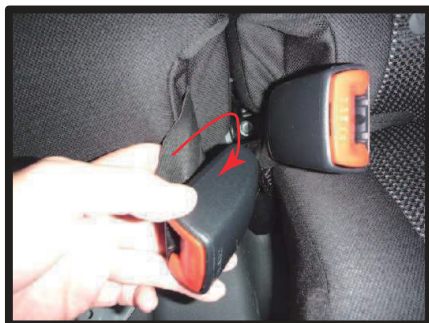


③シートを引き起こし、カバーを全体にかぶせます。



⑥カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。  
助手席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。

## 2列目背もたれ



①はじめに、シートベルト用バックルを取り外します。バックルはゴムで固定されていますので、抜き取るように取り外します。



④背もたれを包み込むように、カバーをかぶせます。肩口までしっかり入れ込むようにして下さい。



②運転席側には、中央席用のバックルがあります。中央席用のバックルは背もたれのポケット状になった部分から抜き取ります。



⑤①で外したバックル固定用のゴムをカバーの加工穴から取り出し、外したバックルを元に戻します。



③カバー背面のファスナーを開き、背もたれ中央のシートベルトをかわすようにします。



⑥カバー背面のファスナーを閉じます。勢い良く閉じると、ファスナーが破損する恐れがありますので、左右の生地を内へ寄せながら、慎重に閉じて下さい。

## 2列目背もたれ続き



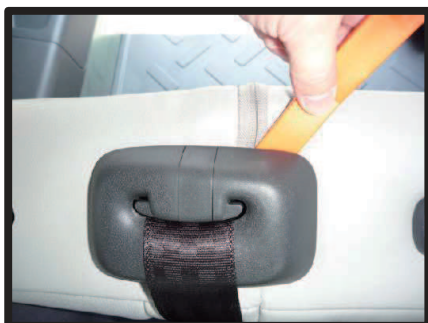
⑦カバー前側の生地を、背もたれの下側へ入れ込みます。



⑩ヘッドレストの台座部と、図のリクライニングスイッチ部を、1列目と同様にカバーの加工穴から取り出します。



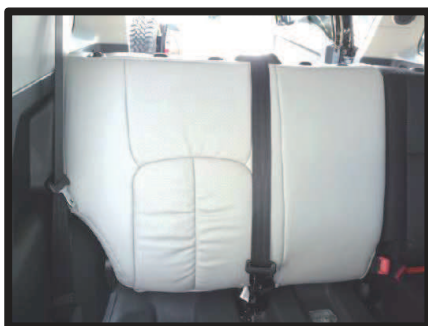
⑧入れ込んだ生地を、背もたれ後ろ側から引き出します。背もたれを前側に倒しながら生地を引き出すと、作業がしやすくなります。



⑪シートベルトの台座部に生地を入れ込みます。ヘラ等を使用すると、作業がしやすくなります。



⑨引き出した生地と、背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



⑫カバーのラインを整え、2列目運転席側背もたれの完成です。  
8ページ②で外したバックルは、カバーのスリット部に収納します。  
助手席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



# アームレスト



①4ページで取り外したアームレストに、カバーを半分ほど裏返した状態でかぶせます。先端までしっかり入れ込んで下さい。



④カバーのファスナーを閉じます。



②アームレスト全体にカバーをかぶせます。



⑤カバーのラインを整え、アームレストの完成です。

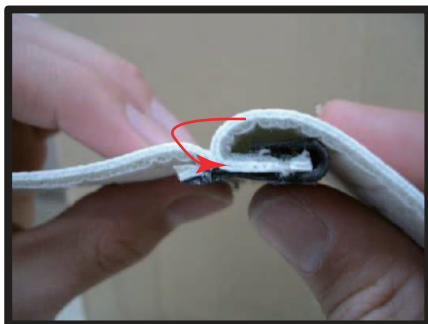


③取り外した逆の手順で、アームレストを元に戻します。

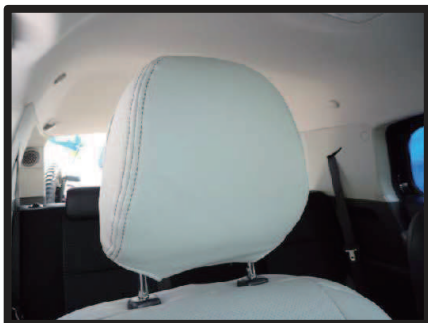
# ヘッドレスト



①カバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前側になります。カバーを半分ほど裏返し、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。



④プラフックの固定方法は、図のように平らな形状の方を、生地ごと巻き込みながら、カギ状の方に引っ掛けるように固定します。



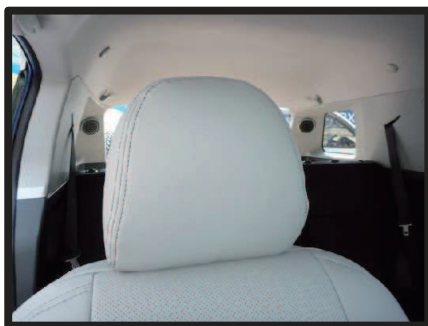
②合わせたラインがずれないように、カバーを下までかぶせます。



⑤プラフックを正しく固定すると、このようになります。



③ヘッドレストを台座から取り外し、カバー下側のプラフックで固定します。



⑥ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。

## 完成図



⑦ 2列目ヘッドレストは、カバーを前側からかぶせていきます。



1列目



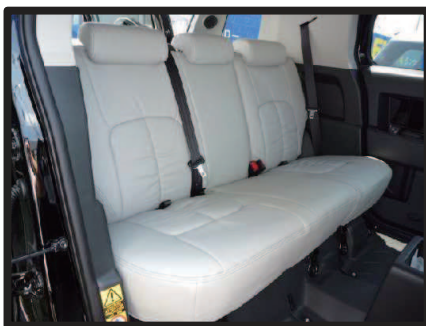
⑧ 1列目と同様にブラックで固定します。



1列目背面



⑨ カバーのラインを整え、2列目ヘッドレストの完成です。  
2列目中央席ヘッドレストも同様に取り付けます。



2列目



## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …> 生地別メンテナンス方法

### ウルトラスエード

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。  
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。  
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。  
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



### ファブリック

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

